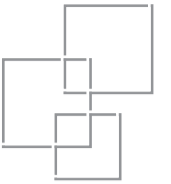


9月定例会では、9月1日から3日にかけて15人の議員が一般質問を行いました。紙面の都合により、質問と答弁の要旨を1人1問ずつ紹介します。

なお、一般質問の様子は、太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただけます。

また、定例会の正式な会議録は、市政情報コーナーや市立図書館、市議会ホームページ、議会事務局などで12月下旬からご覧いただけます。

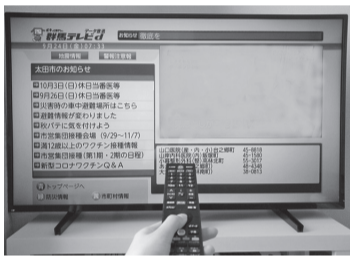


インターネット弱者に対する広報等の取り組みについて



太田クラブ 木村 浩明

議員 市政情報をリアルタイムで取得するには、市のホームページの閲覧が必要ですが、高齢者を中心にインターネット接続ができず、ホームページを見られない市民がまだまだいると考えます。こうしたインターネット弱者への広報手段として、広報車の運用や防災のスピーカーの増設等が有効と考えます。また最近では、群馬テレビのデータ放送に、太田市からのお知らせが掲載されるようになりましたが、掲載が開始された時期や掲載内容について伺います。



企画部長 令和3年6月から、群馬テレビのデータ放送で太田市からのお知らせを確認できるようになりました。ワクチン接種

情報、休日当番医等の情報のほか、災害時の避難情報など防災情報も、ほぼリアルタイムで、24時間更新可能です。

議員 データ放送を日課として視聴してもらうために、リアルタイムでの情報発信に重点を置いた内容とすることが有効と考えますが、所見を伺います。

企画部長 リアルタイムで情報を入手できる貴重なコンテンツですので、有益な情報を掲載できるよう、活用方法を十分に研究していきたいと考えます。

議員 インターネットを利用していない人も含め、市民全体に情報を届けることが重要と考えますが、市長の所見を伺います。

市長 複数の方法で情報発信することが必要であると思います。自分の好きな方法で情報を得られる環境にすることは、行政の役割だと考えます。情報の伝達は難しい課題ですが、さまざまな方法で市民に届けられるように工夫していきたいと考えます。



自転車事故の対応と交通安全について



創政クラブ 高藤 幸偉

議員 自転車用ヘルメットの着用が努力義務化されたことについて伺います。

市民生活部長 自転車事故の致命傷は、6割以上が頭部の損傷によるものです。死亡・重傷事故を防ぐため、本年4月1日の群馬県交通安全条例の改正に伴い、ヘルメット着用が努力義務化されました。



議員 市内の未成年者に関わる自転車による人身事故の発生状況を伺います。

教育部長 令和2年度における市内の児童生徒の自転車による救急要請を伴う交通事故は70件でした。

議員 登下校時だけでなく、日常の中で自転車を利用する際もヘルメットを着用することを推進するため、中学生・高校

生のヘルメット購入費を補助することについて、市長の所見を伺います。

市長 所得の少ない世帯の小・中学校新生を対象とした就学援助制度がありますので、これを利用してもらいたいと思います。また、新年度からは高校生まで対象を広げることも考えています。

議員 子どもたちへの注意喚起や、ヘルメットを着用し一人一人が安全対策をすると同時に、道路標識の整備や横断歩道、グリーンベルトの設置等、通学路の適正な管理と迅速な整備が必要と考えますが、所見を伺います。

市長 安全が保たれていない通学路の改修工事を夏休み期間中にまとめて進めました。残っている部分は9月補正予算で対応します。また、学校や地域の人たちで気になるところがあれば、全面的に改修を行いたいと考えます。

■その他の質問

- ・ドローンの活用とその必要性について
- ・ウイルスによる感染症対策について



本市の人事制度について —休暇取得及び時間外勤務について—



太田クラブ 大川 敬道

議員 働き方改革により、年間5日以上の年次有給休暇の取得が求められています。そこで、本市の一般行政職員について、令和2年1月からの1年間における年次有給休暇の取得が5日未満の職員、および3日未満の職員の状況を伺います。

企画部長 年次有給休暇の取得が5日未満の職員は24人です。内訳は男性16人、女性8人であり、そのうち教育委員会の職員が11人となります。また、3日未満の職員は7人です。内訳は男性4人、女性3人であり、そのうち教育委員会の職員が4人となります。年次有給休暇の取得日数が5日未満の職員は、全体の2.2%であり、年々減少傾向にありますが、引き続き休暇の取得を励行していきたいと考えています。

議員 年次有給休暇の取得日数が5日未満の職員について、教育委員会の割合が高くなっています。要因の分析と改善が必要と考えますが、所見を伺います。

教育部長 一部の職場では、学校が授

業を行っている各学期中は、業務が繁忙であり、休暇を取りにくい状況があります。学校の夏休み期間に集中して休暇を取るよう推進していますが、夏季特別休暇の優先取得期間と重なり、年次有給休暇の取得まで至らないことが原因と考えています。今後も意識改革を促し、休暇取得の推進を図りたいと思います。

議員 年次有給休暇の取得促進について、市長の所見を伺います。

市長 職員のリフレッシュや自己啓発のために、今後も休暇の所得を推進していきたいと考えます。



■その他の質問

- ・障がい者雇用について



重層的支援体制整備事業への移行準備事業について



公明クラブ 高橋 えみ

議員 来年度からの重層的支援体制整備事業の本格実施に先駆け、現在行っている移行事業について伺います。

福祉子ども部長 主な業務内容は相談支援、参加支援、地域づくり支援を一体的に行うものです。相談支援では4月から7月までに53件の相談を受けています。また、介護、障がい、子ども、困窮を担当する関係課との調整会議を7月に実施し、9月中に財源変更に伴う説明と、関係課で組織する協議会の設置に向けた準備会議を予定しています。



議員 ひきこもりの人の中には精神疾患や発達障害の人が一定数いる等、その苦しみには多様性があります。複合的な相

談に最善の対応ができるよう、精神保健福祉士や社会福祉士等、さまざまな役割の有資格者を早期に配置してほしいと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 複雑な環境で生活していたり、障がいがあったりする人には、行政ができる限り対応したいと考えています。有資格者、その道に長けている人材を採用し、中核に据えて対応していきたいと考えます。

議員 本市では、義務教育在学中は不登校専門員がいますが、進路を決めないまま卒業してしまう生徒が大変心配です。そういった人や家族を孤立させないように、太田市独自の重層的支援体制整備を進めてほしいと思いますが、所見を伺います。

市長 体制移行と人材の確保、具体的に市が行うべき施策について十分に研究し、来年4月のスタートに向けて一生懸命やっていきたいと考えています。

■その他の質問

- ・網膜色素変性症の支援について